

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	グローバルリテラシー	
科目基礎情報							
科目番号	0081			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質工学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	堀江 潔,田崎 弘章,堂平 良一,中村 真一,松尾 秀樹,本 慎一郎,森 保仁,森下 浩二,吉塚 一典,入江 英也,上田 真梨子,大里 浩文,大坪 舞,眞部 広紀,三ツ廣 孝,横山 溫和,大浦 龍二,大山 泰史,尾崎 ちひろ						
到達目標							
1. 他者の話をしっかり聞くことができる 2. 収集した情報から活用すべき情報を選択できる 3. 収集した情報を正しく発信できる 4. 事実をもとに論理的に考察できる 5. 周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる 6. チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる 7. グローカルな観点から課題を設定し、探究することができる 8. 探究した課題を、発表できる 9. 探究した課題について、協働して論文を執筆できる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1	話をしっかり聞き、そのことをわかりやすい言葉で伝える			他者の話をしっかり聞くことができる		話を聞く態度を見せない 話を聞いているが、それが続かない [具体例] ・話を聞いているかどうかかわからない ・区切りまで聞かずに、断りなく自分から話出してしまう など	
評価項目 2	グループ内で情報を収集し、複数の面から意味づけを行い、効率的に活用できる [具体例] ・メモや写真などを活用し、決まった以上の情報収集を行う ・収集した情報をいくつかの角度から意味づけて、十分に活用している など			収集した情報から活用すべき情報を選択できる		なにもしない	
評価項目 3	グループ内で集約した情報を精査し、正しく発信できる			収集した情報を正しく発信できる		なにもしない	
評価項目 4	グループ内できちんと筋道を立てて、論理的に考察を展開する			事実をもとに論理的に考察できる		全く外れた行動をとる なにもしない	
評価項目 5	グループ内のメンバーに、周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができるように促す			周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる		全く外れた行動をする なにもしない	
評価項目 6	グループ内のメンバーに、周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができるように促す			チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる		全く外れた行動をとる	
評価項目 7	グローバルな観点から課題を設定し、適切な手法で探究を深めることができる			グローバルな観点から課題を設定し、探究することができる		なにもしない	
評価項目 8	探究した課題を、正確に、わかりやすく発表できる			探究した課題を、発表できる		なにもしない	
評価項目 9	探究した課題について、協働して論理的な論文を執筆できる			探究した課題について、協働して論文を執筆できる		なにもしない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	それぞれが選択したゼミにおいて、グローバルな視点とローカルな視点から課題を見つけ、探究することで「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」「複眼的視野」「変動する社会情勢に対応する力」を育成する。						
授業の進め方・方法	ゼミごとの取り組みと、共通で実施する中間報告・最終報告・論文執筆とがある。 各ゼミを2グループに分けそれぞれのグループで課題（テーマ）に対して取り組む。 中間報告会・最終報告会は他ゼミと合同で実施する。 論文は共著で執筆する。						
注意点	【評価基準・評価方法】 中間報告10%・最終報告30%・論文30%・平常点30%で総合的に判断する。 総合成績60点以上を単位取得とする。 授業の進め方・平常点の内容はゼミごとに異なる。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1. 全体オリエンテーション 2. 教員によるオリエンテーション			授業の目的・進行方法を理解できる	

		2週	ゼミごとの活動	他者の話をしっかり聞くことができる 収集した情報から活用すべき情報を選択できる 収集した情報を正しく発信できる 事実をもとに論理的に考察できる 周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる グローバルな観点から課題を設定し、探究することができる
		3週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		4週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		5週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		6週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		7週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		8週	ゼミごとの活動	上記に同じ
	2ndQ	9週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		10週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		11週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		12週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		13週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		14週	合同ゼミによる中間報告会	探究した課題を、発表できる
		15週	各教員ゼミによる中間報告会振り返り	発表を振り返り、今後の課題を見つけることができる
		16週		
後期	3rdQ	1週	ゼミごとの活動	他者の話をしっかり聞くことができる 収集した情報から活用すべき情報を選択できる 収集した情報を正しく発信できる 事実をもとに論理的に考察できる 周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる グローバルな観点から課題を設定し、探究することができる
		2週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		3週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		4週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		5週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		6週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		7週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		8週	ゼミごとの活動	上記に同じ
	4thQ	9週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		10週	ゼミごとの活動	上記に同じ
		11週	最終報告会	探究した課題を、発表できる
		12週	論文作成（１）	探究した課題について、協働して論文を執筆できる
		13週	論文作成（２）	探究した課題について、協働して論文を執筆できる
		14週	論文作成（３）	探究した課題について、協働して論文を執筆できる
		15週	論文作成（４）	探究した課題について、協働して論文を執筆できる
		16週		

評価割合

	中間報告	最終報告	論文	平常点	合計
総合評価割合	10	30	30	30	100
基礎的能力	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	10	30	30	30	100